



2020年5月12日

## 二つのショックに対応する湾岸産油国

～中東経済シリーズ～

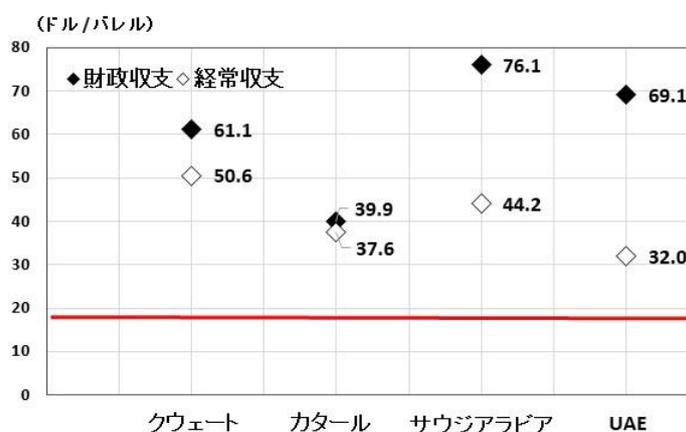
公益財団法人 国際通貨研究所  
開発経済調査部 主任研究員 九門康之

サウジアラビアを始めとする湾岸産油国は、3月以降、原油価格低迷による歳入減少と新型コロナウイルス蔓延による経済活動縮小という二つのショックに直面している。湾岸産油国の対応状況を概観してみた。

### 原油価格低迷への対応

湾岸産油国は歳入を石油収入に依存している。石油収入への依存度がクウェートで88%に達しているほか、カタールで80%、サウジアラビア62%、アラブ首長国連邦(UAE)53%といずれも高水準である。加えて、財政収支が均衡する原油価格が高く、サウジアラビアの1バレル79.1ドルを筆頭に、UAEは同69.1ドルで、最も低いカタールでも同39.9ドルといずれも現在の原油価格水準である20ドル台後半(WTI)からほど遠い(図表1)。そのため、歳入不足が懸念されている。

図表1： 財政・経常収支均衡原油価格



(資料) IMF, Regional Economic Outlook (Apr. 2020) より作成

湾岸産油国は歳入減少を補うために対外資金調達を行った。各国とも借入実績が少なく高格付<sup>1</sup>を維持していることから、資金調達は順調に完了した模様である（図表 2）。

図表 2： 直近の対外借入実績

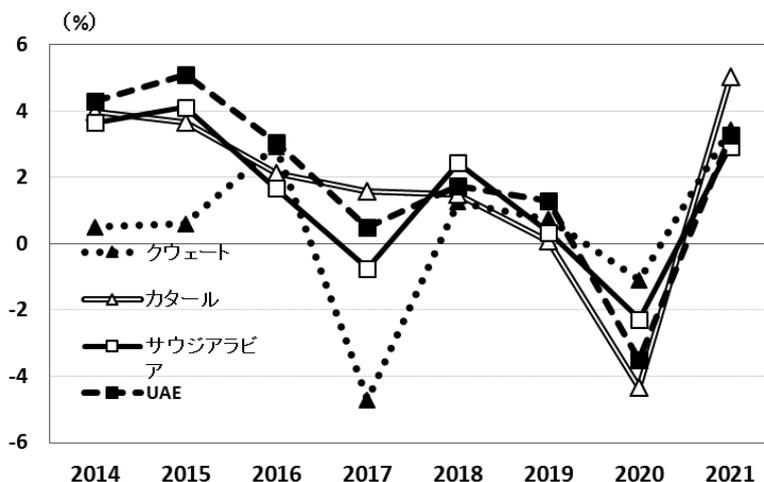
国	時期	総額	内訳
サウジアラビア	4月	70億ドル	25億ドル5.5年、15億ドル10.5年、30億ドル40年
UAE(アブダビ)	4月	70億ドル	20億ドル5年、20億ドル10年、30億ドル30年
カタール	4月	100億ドル	20億ドル5年、30億ドル10年、50億ドル30年

(資料) 各種報道より筆者作成

### 経済活動縮小への対応

新型コロナウイルスの蔓延を防ぐため、湾岸産油国でも行動制限を実施した。サウジアラビアがリヤドなど一部の都市で 24 時間の外出制限を実施したほか、UAE のドバイが外出事前許可制度を導入した。これらの行動制限に加えて、各国とも空路を遮断して入出国を停止したため、リテールを中心に経済活動がほぼ停止状態となった。こうした結果、2020 年の各国経済がマイナス成長となる見通しである（図表 3）。

図表 3： 実質 GDP 成長率（前年比）の見通し



(資料) IMF, World Economic Outlook データより作成

湾岸産油国は、経済活動縮小に対応するため景気刺激策を打ち出している。中央銀行による国内金融市場への流動性供給を中心に、政府による各種手数料や電力料金の減免等を実施する（図表 4）。各国政府は、景気低迷の拡大に応じて景気刺激策を追加しており、今後規模が拡大する可能性がある。

<sup>1</sup> S&P 格付：サウジアラビア「A-」、UAE（アブダビ）「AA」、カタール「AA-」

図表 4： 湾岸産油国の景気刺激策

国	項目	金額・内容
UAE(全土)	国内金融市場への流動性供給	690億ドル
	民間企業支援	関税の一部払い戻し
UAE(ドバイ)	フリーゾーン進出企業支援	賃料の支払猶予 手数料の減免
サウジアラビア	国内金融市場への流動性供給および中小企業資金支援	320億ドル
	商工業部門支援	電力料金割引
カタール	民間部門資金支援	230億ドル
クウェート	国内金融市場への流動性供給	165億ドル

(資料) 各種報道より筆者作成

湾岸産油国で新型コロナウイルス感染者数が増加を続ける一方で、各国政府は 4 月 23 日のラマダン月（イスラーム教の断食月）入り以降、行動規制を一部緩和した。感染拡大抑制が十分でない段階で、ラマダン月とはいえ行動規制を緩和することは、更なる患者増加を招き、結果として経済回復が遅れることになりかねない。感染者抑制と経済刺激のバランスが微妙な段階に入っている。

以 上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。